

11月7日(月)～11日(金) 午前9時～午後5時(最終日は午後4時まで)

過半数代表者選出選挙の信任投票日です。

本荘・大江事業場 棚瀬 純男氏、

附属病院事業場 芦村 浩一氏を信任してください。

熊本大学で働く労働者の過半数代表者の選出選挙が行われています。過半数代表者は、就業規則の変更に関して意見を述べ、36協定に代表される労使協定の締結、労働安全衛生法に基づく委員の推薦などの権限等が与えられ、教職員の労働条件を決定する重要な役割を果たしま

す。つまり、私たちの労働条件に直接関わる重要な仕事を受け持つ事になります。組合は、職場環境・労働条件の改善を目指し、過半数代表者を応援・協力していきます。組合推薦の候補者お二人からのひとことを紹介します。

本荘・大江事業場 棚瀬 純男 生命科学研究部 教授

今回、熊本大学教職員組合の推薦を受け、本荘・大江事業場「労働者の過半数代表者」に立候補することになりました生命科学研究部(保健学系)の棚瀬純男です。

近年の大学としての大きな変革は、法人化とそれに続く組織改編でした。今また、経済状況の低迷や災害対策費用の増加などを理由として運営交付金が削減されようとしており、ポイント制度の導入などのような大学運営の基盤を揺るがしかねない改変がさらに行われる可能性があります。

このような状況においても社会を支えるのは人であり、そのような人材を育てるのも人であることを忘れないとすれば、教職員の労働環境の改善と向上は社会基盤整備の一環であり人材育成にとって欠かせないものと考えられます。働きやすい職場を整えることは、必ずやそのまま教育や研究環境の向上とその成果につながると考えられます。これまでの1年間と同様に全事業所の代表者と協力しつつ、本事業所の過半数代表者として労働環境の改善を目指して努力したいと思っています。

附属病院事業場 芦村 浩一 ME 機器センター 臨床検査技師

2011年度医学部支部執行委員

この度、熊本大学教職員組合の推薦を受け医学部附属病院事業場より過半数代表者に立候補することになりました芦村です。過半数代表者への立候補は今回で8度目となりますので、これまでの経験を基に熊本大学で働く職員が誇りも持って働けるよう、他の事業場の過半数代表者と連携を図りながら、対処していく所存です。

加えてお願いですが、附属病院事業場の教職員の皆さまの過半数を超える信任を得られれば、労働者代表として私自身も心強く思えます。

お忙しいとは存じますが、一人でも多くの皆様が投票場に出向かれますようお願い申し上げます。

熊本大学と雇用関係(10月1日在職者)にある職員- 正規職員、有期雇用職員(フルタイム・パート職員)、再雇用職員- 全員が有権者です。

学長・理事・監事・非常勤講師・TA・RA・下請け・派遣の方は除きます。

赤煉瓦

熊本大学教職員組合(医学部支部版)

No.12

2011.11.4

内線:3529 FAX:346-1247
ku-kyoso@union.kumamoto-u.ac.jp
<http://union.kumamoto-u.ac.jp/>